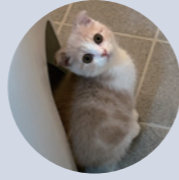


インターンシップ学生、いつも笑顔で頑張る春さんです。



9月末から12月までの3カ月間、大学のインターンシップでお世話になっています、熊本学園大学2年の高田春です。最近の楽しみは家族の猫ちゃんと一緒に寝ることです。寒くなってきたこともあり、猫ちゃんの温もりが心地いいです。毎朝私の腕の中でぬくぬくと眠る猫ちゃんを見るのが楽しみで、それと同時に起きるのが辛いです。

宇土市民会館で色々な体験をすることができ、何回も繰り返すうちに慣れてくるものだと実感することができました。分からないことがあれば職員の皆さんが丁寧に教えてくださるためとても聞きやすいです。恵まれた環境で学ぶことができていることにとても感謝しています。残り少ない期間ですが、精一杯頑張ります。



劇団扉座の皆さん、出演者、会館スタッフとサポーターで交流会。



清和文楽の舞台裏を体験。



「かず先生のサイエンスショー」の受付担当。



会館前花壇の花植えをしました。



サポーター会代表 山上 千景

皆さん、こんにちは！
今日は、宇土の文化を考える会のサポーター会の紹介をさせていただきます。二〇〇八年に宇土市民会館が指定管理となり、それ以来、NPO法人宇土の文化を考える市民の会が管理者として運営しています。NPO法人格を取得する以前から「世話人会」として会館の事業サポートや、まちづくり活動に携わってきました。現在サポーターは二〇名程です。市民会館の催し物が行われる時は、チケットのまぎりや、ホール座席へのご案内等、お客様が気持ちよく見ていただける様、活動をしています。県内外からのお客様も多く、宇土のPRも兼ね、宇土の文化がより香り高く伝わる様に笑顔で、おもてなしをしています。
また、事業として、年一〜二回のサロンコンサートも開催しています。それから、先月は年に一度の研修として清和文楽を見学。市民会館のスタッフの方々と一緒に参加し、これからの活動に生かせる有意義な時間となりました。
これから活動を行って行く上で、もっと多くのサポーターさんに参加してもらえると、手厚いサポートが出来るのではないかと、またサポーターさんが増えると、色々な楽しいアイデアが出てくるのではないかと、もっと活動の幅が広がるのではないかと、という意見がだされました。これから私たちが、今まで以上にパワフルに活動を行っていきたいと思っています。そしてサポーター会の存在を多くの人に知って欲しいと思っています。この活動に興味のある方は、是非仲間になって欲しいと思います。連絡をお待ちしています。
(連絡先 宇土市民会館 0964-22-0188)

「サポーター会」ご存じですか？
会館事業などに、ちょっとボランティアさん募集中心！



NPO 法人 宇土の文化を考える市民の会 宇土市民会館ホームページ <http://www.utobunka.jp>

事務局 〒869-0433 宇土市新小路町123 宇土市民会館内

TEL 0964-22-0188 FAX 0964-22-0189

■年会費納入のお願い 2023年度の年会費納入ありがとうございます。未納の方は、郵便局で振込まれるか、市民会館窓口でお支払い下さい。よろしくお願いいたします。*火曜日休館



宇土市民会館 HP

No.48 2023.12.10 発行

文化通信

NPO法人
宇土の文化を考える市民の会

12月に入り様々な色のイルミネーションが冬の夜を彩っています。この時期、宇土市民会館前の広場でも商工会によるハートの明かりが飾られ、楽しいイベントが行われます。また、1月には久しぶりに成人式が会館で開催されます。ホール、ギャラリーも含め、多くの方が集い、温かい交流が生まれる場所になりますよう、新たな年も文化の会ならではの運営・魅力ある事業を展開したいと思います。引き続きご支援頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

「指定管理者制度」導入から20年。制度運用への新たな動き

宇土市民会館 館長 本田恵介



みなさんは、「指定管理者制度」という言葉を耳にされたことはありますか？

地方公共団体が、公の施設の管理を営利企業、財団法人、NPO法人などへ包括的に代行させることができる制度で、2003年度の地方自治法改正により導入されました。

宇土市民会館も2008年度からこの制度を導入し、それまでの市直営から、現在の「NPO法人宇土の文化を考える市民の会」が市の委託を受けて運営する形に変わりました。

制度の本来の目的は、民間の経営ノウハウを活かしたり、専門能力を持った外部人材を登用することで住民サービスの向上と行政コストの削減につなげるところにあります。しかしながら、多くの地方自治体では財政が逼迫するなかで、コスト削減のみに重きが置かれ、予算や人員が大幅にカットされたところが数多く見られます。

「公の施設」と言っても、公園や駐車場など日々の管理をおもな業務とする施設もあれば、劇場・ホールや図書館、美術館の運営など専門性の高い技術や能力を必要とする施設もあります。

宇土市民会館をはじめ全国ほとんどの公立文化ホールが加盟する公益社団法人全国公立文化施設協会（正会員1,315施設）では、制度導入20年を機に制度の課題を整理し、「劇場、音楽堂等における指定管理者制度運用への提言」を取りまとめ、総務省、文化庁、全国知事会などへ提出し、制度の改善を求めました。

今年7月から宇土市民会館の運営に携わり、地方の中小ホール現場を目の当たりにしている私から見れば、今回の提言でも言い足りない点が見られます。しかし、制度改善の第一歩となることを願って、文化政策に携わる一人でも多くの行政のみなさんにご一読いただきたいと考えています。

会員のみなさまの中で興味のある方は、劇場、音楽堂等における指定管理者制度運用への提言、で検索してみてください。

.....これからの事業予定.....

第8回 地域伝統芸能祭

2024年1月28日(日)
一時を越え、心をつぶー



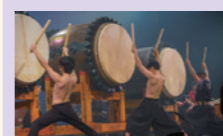
地域の誇りが輝く、伝承の祭典。ご家族やお友達と共に、民俗芸能の魅力と伝統が織りなす、熱い祭りにぜひご参加ください。

- 入場無料
- 出演団体
中江岩戸神楽(波野)
鬼木白太鼓踊り(人吉市)
宇土御獅子舞(宇土市)
松山花棒踊り(宇土市)
宇土雨乞い太鼓保存会(宇土市)

宇土太鼓祭 越境

2024年3月3日(日)

江戸時代から伝わる宇土の太鼓文化



伝統を受け継ぐ若者達が未知への一步を踏み出す息吹とエネルギーを体感ください。ご家族や友人と共に、宇土太鼓祭で新たな世界に越境してみませんか？



- 料金(全席指定)
一般2,000円/学生1,000円/ペア3,000円
- 出演団体
宇土天響太鼓
太鼓芸能集団「袖衣」
宇土高校和太鼓部「鼓」

第8回 春の音楽の祭典

2024年3月10日(日)

～春の訪れを音楽とともに～



今年のゲストは、サクソフオン一家の佐々木家とコーラスの左座家です。オリンピック開催年にふさわしい選曲をお楽しみください。



- 前売り料金(当日200円増)
一般1,000円/学生500円
- 出演団体
コール宝、宇城混声合唱団、熊本アカデミー合唱団、合唱団「カリョーピング」、宇土中・高校(アンサンブル)、鶴城中合唱部ほか(予定)